

令和6年度 事業計画の検討について

資料の趣旨

- 協会けんぽの平均保険料率は10.0%となっておりますが、各都道府県で異なる健康保険料率は、令和5年度で最大と最小の支部で1.18ポイントの開きがあります。
- 各支部においては地域の課題に即した事業展開を進めていくため、医療費情報や健診情報の分析を行い、令和6年度に向けた事業計画・予算策定の準備を進めております。
本日は現時点での素案をお示しし、評議員の皆様からのご意見を伺いたく存じます。
- 本日はご意見と、今後、協会けんぽ本部から示される予算額を踏まえ策定する福島支部の令和6年度保険者機能強化に向けた事業計画と予算案については、次回1月の評議会で審議いただく予定としています。

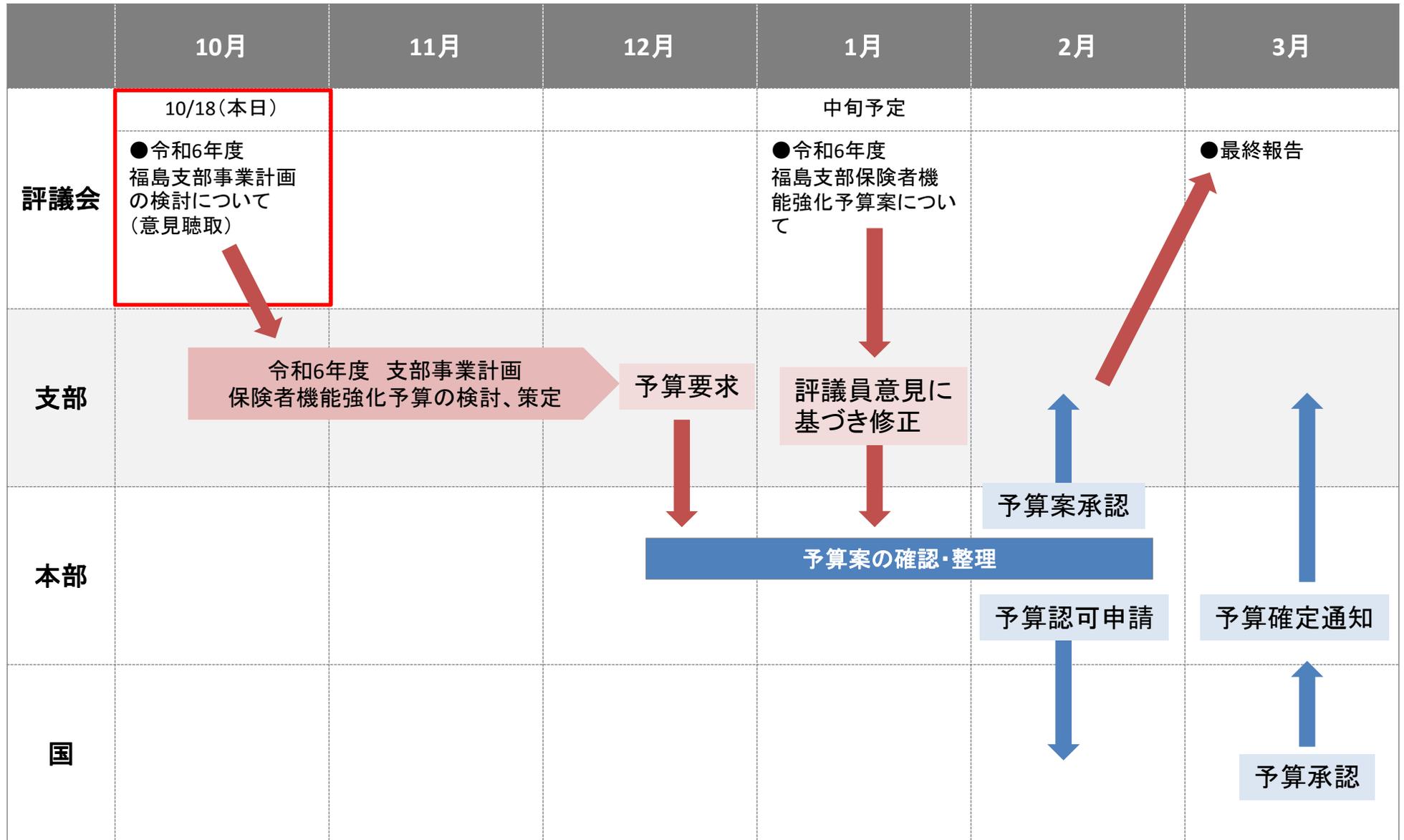
「事業主・被保険者・学識経験者」それぞれのお立場で、次の視点でご意見をいただきたくお願いいたします。

- ・今まで実施してきた事業の継続に対する意見
- ・改善が必要と考えられる事項に対する意見
- ・「来年度の重点事業（案）」に対するご意見
- ・新たな切り口のご提言



協会けんぽ福島支部公式キャラクター

支部事業計画・予算策定、予算認可までのスケジュール



保険者機能強化予算に関する福島支部のKPI実績

項番	項目	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		KPI	実績	達成状況	KPI	実績	達成状況	KPI	進捗	
1	生活習慣病予防健診実施率	60.1%	61.1%	○	61.5%	63.5%	○	62.0%	28.4%	R5.8時点
2	事業者健診データ取得率	8.9%	8.2%	×	9.6%	7.7%	×	11.8%	3.0%	R5.9時点
3	被扶養者の特定健診実施率	35.1%	26.9%	×	38.1%	27.7%	×	42.5%	8.4%	R5.8時点
4	被保険者の特定保健指導の実施率	29.8%	29.1%	×	34.6%	27.1%	×	38.7%	9.5%	R5.8時点
5	被扶養者の特定保健指導の実施率	6.4%	3.9%	×	6.5%	7.9%	○	6.5%	3.6%	R5.8時点
6	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	11.8%	10.9%	×	12.4%	10.7%	×	13.1%	10.07%	R5.8時点
7	健康宣言事業所数 ※KPI設定は令和4年度～	—	1,877社	—	1,940社	1,954社	○	2,070社	1,988社	R5.9時点
8	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	51.0%	51.5%	○	51.2%	51.8%	○	51.8%	52.09%	R5.9時点
9	ジェネリック医薬品使用割合	82.7%	82.2%	×	82.2%	83.7%	○	83.7%	84.5%	R5.5時点
10	効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	実施	未実施	×	実施	未実施	×	実施	実施	R5.9時点

保険者機能強化予算に関する令和5年度の主な取り組み内容

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況
1	広報	継続	【紙媒体による広報】 日本年金機構から毎月、全事業所宛に送付される郵送物にチラシを同封	通年
2		継続	【新聞等を活用した広報】 地方新聞の記事下広告および商工会議所会報誌へのチラシ折込（県内6か所）	新聞5・8・12月 会報誌6月
3		継続	【LINEを活用した広報】 加入者（主に被扶養者）へ直接働きかけるツールとして、健診実施情報や健康情報等を発信	通年
4	特定健診 受診率の 向上	継続	【被保険者 集団健診の開催】 生活習慣病予防健診実施機関の少ない県南・相双地区での集団健診の開催	全14回 8月時点 6会場213名受診
5		継続	【被保険者 事業者健診結果の取得】 外部委託による事業所へのデータ提供勧奨および健診結果(紙媒体)のデータ化	通年実施
6		継続	【被扶養者 集団健診の開催】 福島支部主催の受診者負担のない「0(ゼロ)円健診」の開催、オプション健診機器のレンタル	全12市町村、56回 開催予定 9月末8市町村26回 開催 1,213名受診
7		新規	【被扶養者 施設健診案内DMの送付】 市町村集団健診日程終了後に、施設健診等残された受診機会を記載したDMを送付	全6回 8月～12月
8	特定保健指導 実施率の向上	継続	【保健指導対象者の自発的な取り組みを促す情報発信】 腹囲がわずかに特定保健指導の基準値を超えている者を対象に、自発的な行動変容を促すDMを送付	通年実施
9	重症化予防	継続	【糖尿病性腎症患者の重症化予防】 福島市医師会と連携し、糖尿病患者へのフォローアップを支部保健師が実施	5名開始 (指導期間約半年)
10		継続	【チラシ配布による受診勧奨】 健診機関による健診結果に同封するチラシの作成／事業所における従業員への受診勧奨を促すチラシの作成	健診機関(7月送付済) 事業所(8月送付済)

保険者機能強化予算に関する令和5年度の取り組み内容

No.	区分	前年度からの継続	事業名／事業概要	実施状況
11	医療費適正化	新規	【オーダーメイド型通知】 健康課題が多い者を対象に、健診結果及び保有リスクとその改善策を掲載した個別性の高い通知の送付 ※令和4年度は相双地区を対象に実施、令和5年度は業態に着目し、健康課題の多い業態加入者を対象に選定	1月送付予定
12		新規	【ジェネリック医薬品の使用促進】 マイナンバーカードの保険証利用を見据え、従来の「ジェネリック使用希望シール」に代替として、ジェネリック医薬品使用の啓発メッセージをプリントしたマイナンバーカード収納ケースの作成・送付	1月送付予定
13	健康事業所 宣言 (フォローアップ)	継続	【情報提供】 機関誌の発行（年3回） 事業所ごとの健康課題をまとめた事業所健康度レポートの送付	機関誌6.9.12月 レポート8月
14		継続	【取組支援】 出前講座の実施、血管年齢測定器などの健康度測定器の貸し出し	貸出期間 7～3月
15		継続	【認定制度 運営】 福島県と共同で実施しているふくしま健康経営優良事業所の認定に向けたアンケート作成およびデータ化	アンケート5～6月 認定12月頃

福島支部の現状と課題① 健診受診率・特定保健指導実施率 編

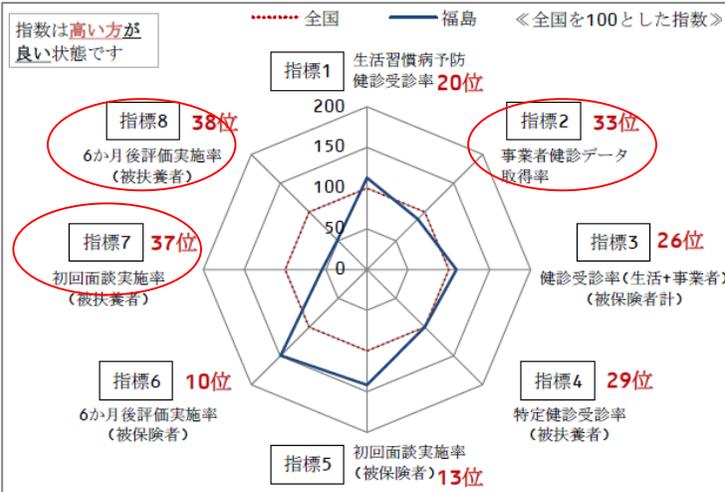
現状・課題
①

◎【被保険者】
生活習慣病予防健診受診率は全国平均を上回り全国中位にあるものの、事業者健診データ取得率は全国平均を下回っている。

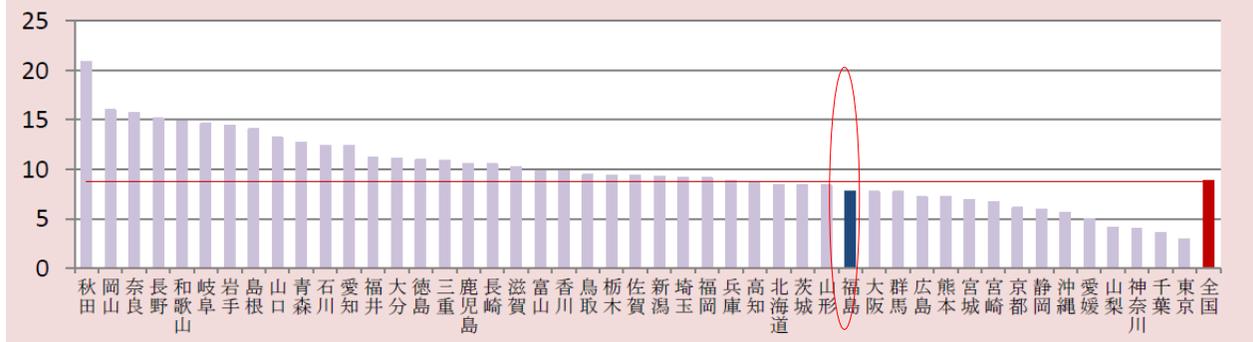
【被扶養者】
特定健診受診率は全国平均と同じ27.7%であるが、3割に満たない。
特定保健指導実施率は全国平均を下回り、健診と併せて底上げが必要。

マイナポータルを活用した健診結果の閲覧や、医師への情報共有がスタートしている点においても、被保険者および被扶養者の健診結果の取得を進めることが重要である。

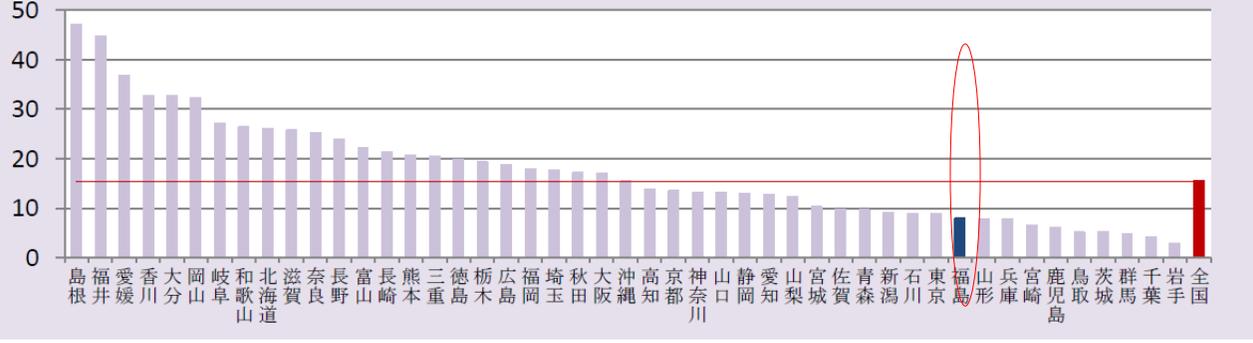
【健診受診率・特定保健指導実施率(2022年度)】



【事業者健診データ取得率(2022年度)】



【特定保健指導 初回面談実施率 (扶養者)】



これまでの取り組みと評価

【被保険者】

- 健診受診 ● 令和5年度から協会けんぽ補助額を引き上げ、生活習慣病予防健診の自己負担額を軽減
- 健診機関が少ない県南・相双地域において支部主催の集合型バス健診を開催（令和4年度実績：全8会場、253人受診）
- 健診機関からの事業者健診データ提出状況の進捗管理の徹底（令和4年度取得件数：17,456件（事業者健診データ取得件数の83.4%））
- 外部委託による事業所への事業者健診データ取得勧奨および紙媒体のデータ化（令和4年度取得件数：3,050件（事業者健診データ取得件数の14.5%））
- 保健指導 ● オンライン面談による特定保健指導の実施（令和4年度実績：累計524名実施）

【被扶養者】

- 健診受診 ● 被扶養者を対象としたゼロ円健診開催（令和4年度実績：12市町村、2,360人受診）
- 全4種類のDMによる受診勧奨
- LINEを活用した健診日程等の情報発信（令和5年9月末時点：お友だち登録589人）
- 保健指導 ● ゼロ円健診会場での特定保健指導の同日実施



被扶養者宛て受診勧奨DM



来年度の重点事業（案）

【被保険者】

- 健診受診 ● 生活習慣病予防健診 付加健診の対象年齢を40歳以上の5歳刻みに変更（現在の対象者は、40歳・50歳のみ） ※協会けんぽとして令和6年度から実施決定
- 健診受診率が低い傾向にある小規模事業所勤務者への健診案内を本人住所地宛に送付
- 支部ホームページ上で生活習慣病予防健診の予約状況を照会できるシステムの導入
- 支部主催の健診について受診者数の分析を行い、会場・日程を見直す。併せて、健診機関の自助努力による受診勧奨を含めた委託の検討
- 保健指導 ● 保健指導の重要性を理解いただくための動画による広報（例：テレビCM、ラジオCM、健診待合室等）

【被扶養者】

- 健診受診 ● パート先で定期健診を受診された方の健診結果の取得勧奨
- 次年度に特定健診の対象となる39歳の方へ、特定健診の予告DMを送付
- 支部主催バス健診の受診者数について分析を行い、受診者が少ない会場・日程を見直す。併せて、健診機関の自助努力による受診勧奨を含めた委託の検討

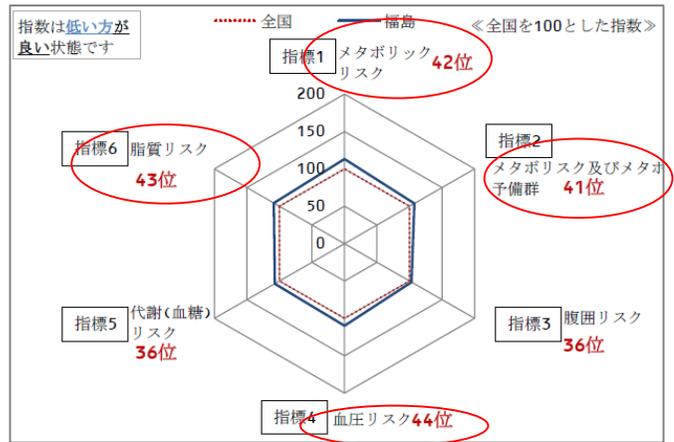
福島支部の現状と課題② 生活習慣病リスク・生活習慣 編

現状・課題 ②

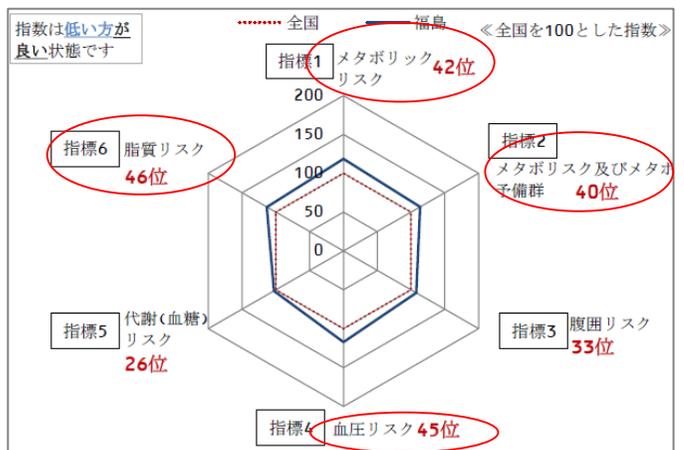
◎ 生活習慣病につながる各種リスク保有率が全国平均を上回り、男女ともにメタボ・血圧・脂質については40位以下のワーストである。
 また、喫煙・運動・飲酒の習慣改善が必要な者の割合が全国平均を上回っており、リスク保有率に加えて、生活習慣についても危惧される状況が続いている。
 全国平均からの乖離が広がっている「メタボ」「血圧」「喫煙」について業態別にみた場合、「運輸業」「建設業」のリスク保有率が高い。

【生活習慣病リスク保有者割合(2022年度)】

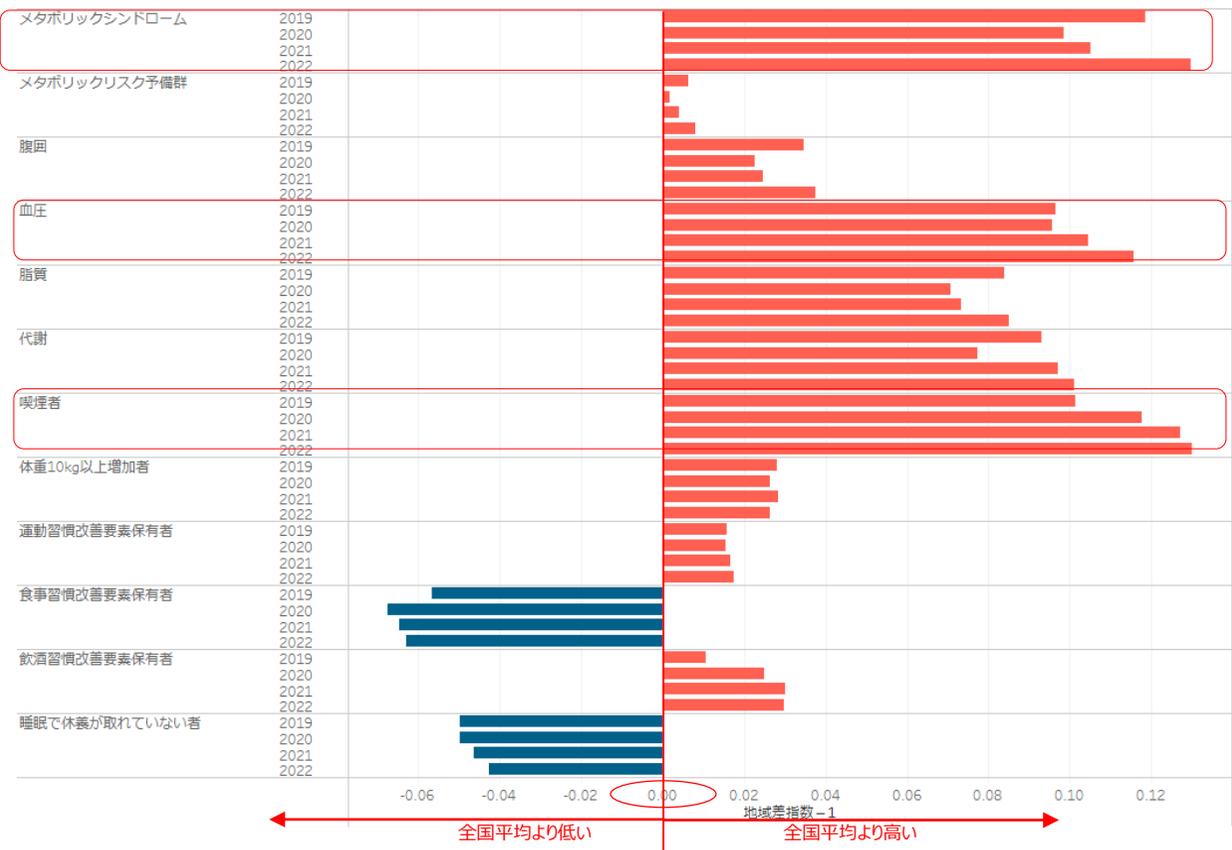
男性



女性



【健診結果および問診結果の地域差指数(全国平均からの乖離)】※福島支部加入者(被保険者・被扶養者)全体



全般的に全国平均よりも高い傾向にある健康課題や改善が必要な生活習慣の項目は変わらないが、全国平均からの乖離が拡大している項目がみられる。

【業態別 リスク率 ◇上位5業態】

※年齢調整なし

業態分類	メタボリスク保有率
運輸業、郵便業	30.9%
鉱業、採石業、砂利採取業	29.1%
建設業	25.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	25.1%
金融・保険業	22.2%

業態分類	血圧リスク保有率
鉱業、採石業、砂利採取業	66.0%
運輸業、郵便業	64.7%
建設業	58.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	58.2%
複合サービス業	54.8%

業態分類	喫煙率
運輸業、郵便業	47.3%
建設業	45.4%
鉱業、採石業、砂利採取業	43.6%
宿泊業、飲食サービス業	37.4%
対個人サービス業、娯楽業	37.0%

これまでの取り組みと評価

【重症化予防】

- 健診の結果、血圧・血糖・LDLのいずれかが「治療が必要」と判定されたにも関わらず、医療機関の受診が確認できない方へ文書及び電話による受診勧奨
- 福島県医師会と連携し、糖尿病患者への保健師面談の実施

【事業所の健康づくり支援】

- 健康事業所宣言の宣言項目「健診受診率」、「特定保健指導実施率」に数値目標の導入 ※令和5年度 新規宣言～
- 運動機会、ヘルスリテラシーの向上のため、出前講座の実施（令和4年度申込件数：申込件数157件）
- 健康経営®の裾野を福島県に広げるべく、福島県との共同による「ふくしま健康経営優良事業所」認定制度の運営

【生活習慣改善】

- 健診結果を経年で比較し、個々の健診結果に応じたアドバイスを記載したオーダーメイド型通知の発送（令和6年1月送付予定）
- 令和5年度は、建設業の団体を中心に訪問。セミナーの実施や広報等の事業について協力要請。



出前講座 令和5年度 全25講座



来年度の重点事業（案）

【重症化予防】

- 早期受診の重要性を理解いただくための動画による広報（例：テレビCM、ラジオCM、健診待合室等）
- 外部委託を活用した重症化予防プログラムの導入

【生活習慣改善】

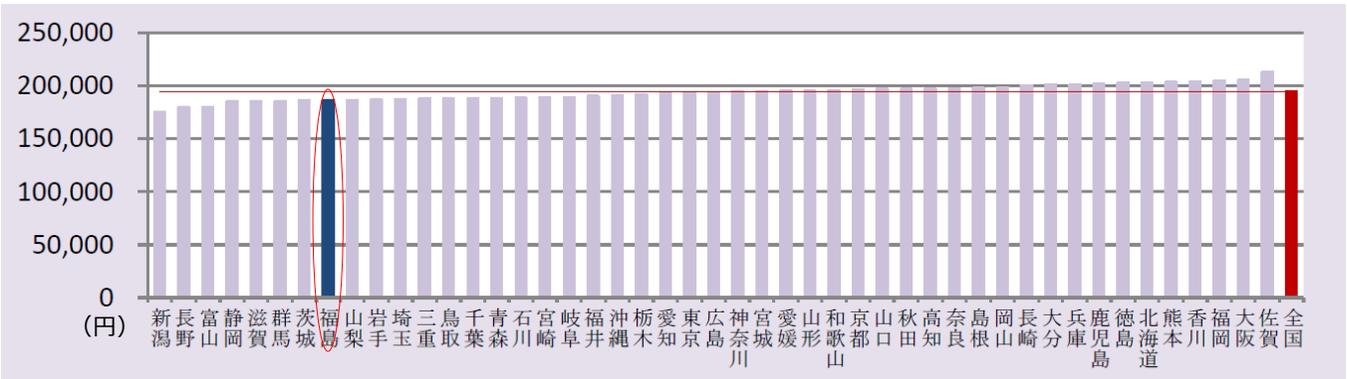
- 内服禁煙補助薬（チャンピックス）の出荷停止に伴い、禁煙外来や新規患者の受け入れを休止している医療機関がある中ではあるが、今後の喫煙リスクを下げていくことは重要である。
喫煙率が高い「運輸業、郵便業」、「建設業」などの業態を優先的に「禁煙」をメインテーマとした行動変容を促すオーダーメイド型通知を発送する。

福島支部の現状と課題③ 生活習慣病以外の疾病 編（精神疾患、精神障害／新生物）

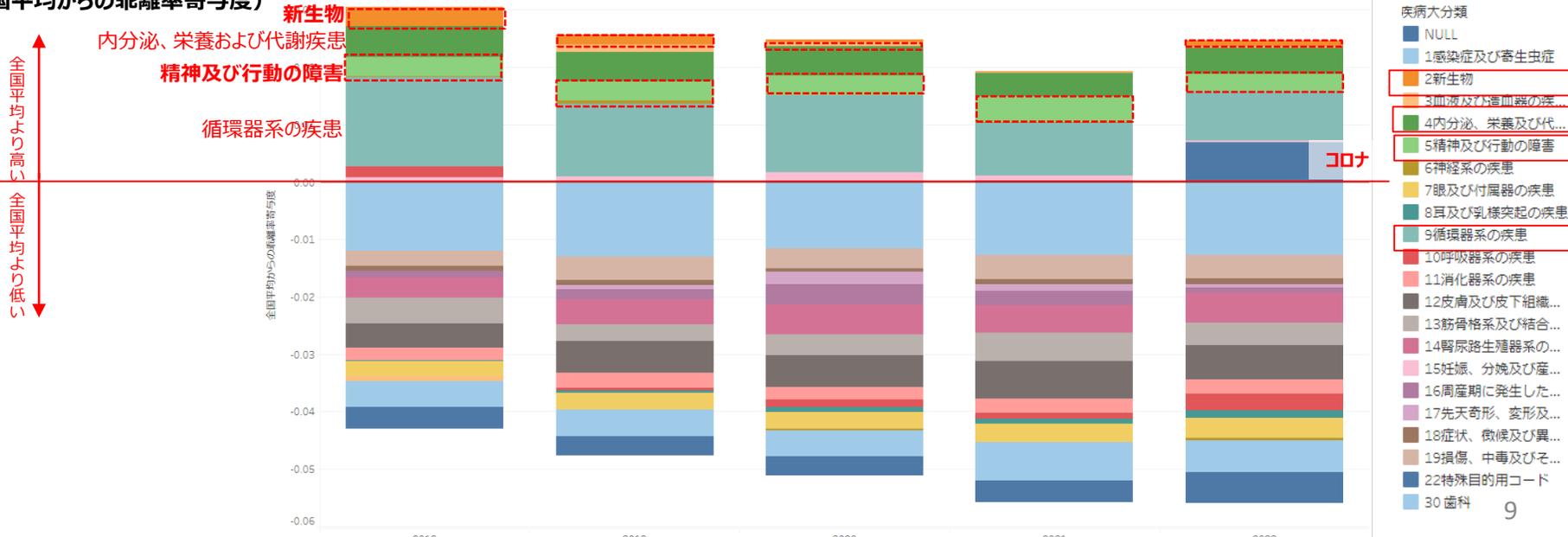
現状

◎ 福島支部の一人あたり医療費は全国平均を下回っているが、疾病別に全国平均との乖離を見ると、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」といった福島支部の健康課題に関連する医療費のほか、「精神及び行動の障害」、「新生物」による医療費も全国平均を上回っている。
 なお、これらの疾患による傷病手当金の請求件数に占める割合も高く、退職後も継続して請求される方が多い。

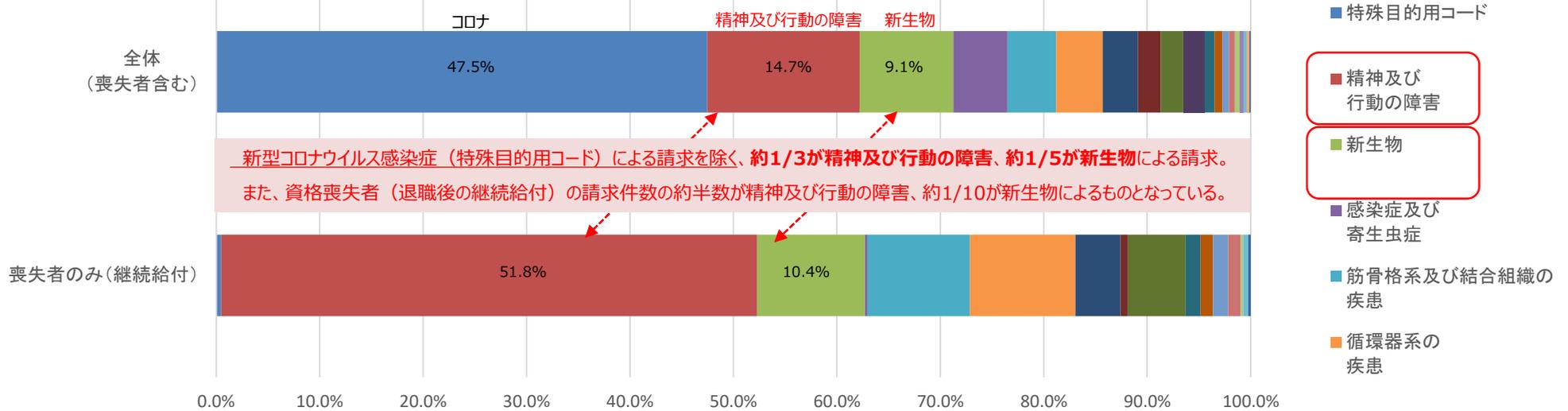
2021年度の全支部の1人あたり医療費（合計）と全国平均



福島支部の一人あたり医療費（疾病別・全国平均からの乖離率寄与度）



【令和4年度 福島支部 傷病手当金の件数 構成割合】



これまでの取り組みと評価

- 「健康事業所宣言」事業所を対象に、平成30年度から福島産業保健総合支援センターとの連携のもと、メンタルヘルスセミナーを実施。令和2年度から民間業者による出前講座 (講師派遣・DVD等) を導入し、令和5年度は4つの講座を展開中。

利用件数	R2	R3	R4	R5
産業保健総合支援センターによるセミナー	4	5	10	11
民間業者による出前講座 ※内容は年度毎に異なる	6	16	6	8

- 令和5年度は県内1か所で「メンタルヘルスセミナー」を開催予定 (令和6年1月/福島市 アオウゼ)

メンタルヘルスセミナー 令和5年度 参加費 無料

講師 小堀江 隆一 先生

日時 2025年1月22日 (水) 14:00 ~ 16:00

会場 知政(アオウゼ)福島市健康福祉センター

定員 100名

11月から案内開始予定

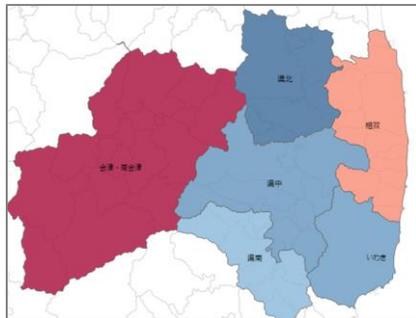
来年度の重点事業 (案)

- メンタルヘルス対策のポピュレーションアプローチとして、県内全域でのメンタルヘルスセミナーの実施 (県内の複数会場およびオンラインも活用したハイブリット型での展開) (今後、市町村との連携強化を図り、セミナー開催地の健康課題に即した講話を市町村との共同実施の可否を検討)
- 被扶養者のがん検診受診について、市町村が実施していることの周知を図る。

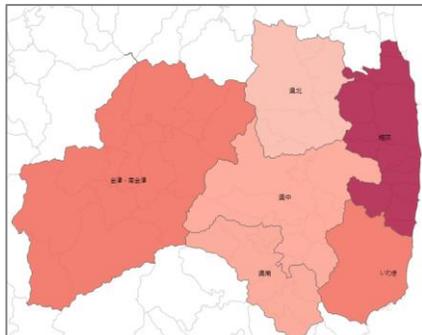
<参考> 二次医療圏別の健康度分析 リスク別の地域差指数（全国平均との乖離）

※赤色が濃いほうが、全国平均との乖離が悪い方に大きいことを示す

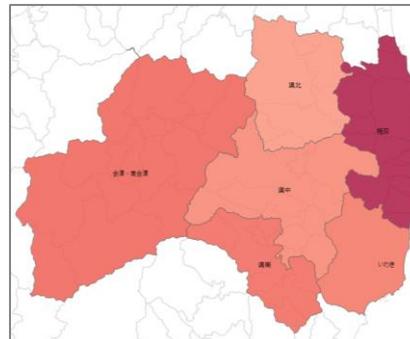
一人当たり医療費（入院）



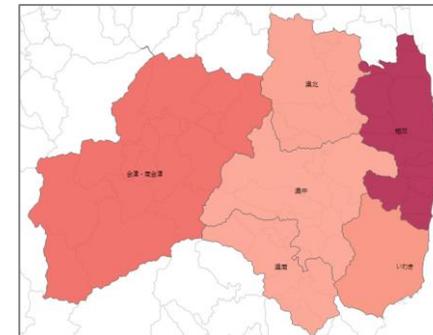
メタボリックシンドロームのリスク保有率



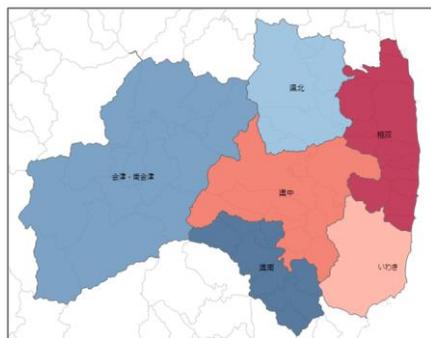
血圧リスク保有率



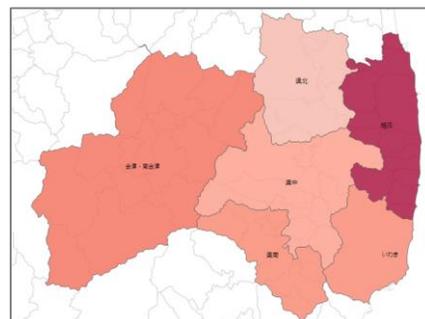
脂質リスク保有率



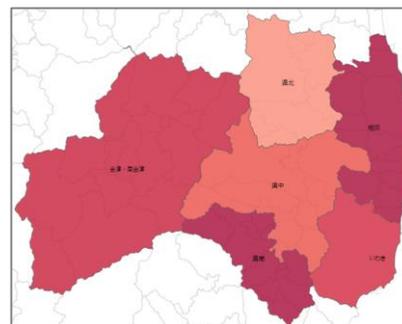
一人当たり医療費（外来）



代謝リスク保有率



喫煙者の割合



運動習慣 要改善者の割合

